

3. 今後の公共施設維持管理に関して

(2) 市保有の文化ホール等の広域管理について、検討の経過を聞く

【答弁】

公益財団法人 富田林市文化振興事業団では、松原市の松原市文化会館、藤井寺市のパープルホール、羽曳野市の LIC はびきの、大阪狭山市の SAYAKA ホール、河内長野市のラブリーホール、富田林市のすばるホールの 6 市による南河内文化会館ネットワーク委員会を立ち上げ、文化事業を相互で連携を図るとともに、協同して事業を実施することにより、南河内地域の文化芸術の振興を展開してまいりました。

平成 28 年 3 月策定の公共施設等総合管理計画におきましても、すばるホールなどの大規模公共施設の今後のあり方について広域的な観点からの検討が必要であると位置づけており、大阪府主催で開催される南河内地域ブロック会議におきまして文化施設の広域連携を検討課題として問題提起をしているところでございます。

しかしながら、関係自治体間ではそれぞれ文化ホールに対する思いがあり、様々な意見があることから、広域での管理の議論がまとまらない状況でございます。

つきましては、近隣の文化ホールが、広域の連携による事業を更に進め、特色を活かした運営を強めるよう働きかけるとともに、広域による管理について関係機関及び関係自治体と研究してまいります。